



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 天界 1921, 1(6)

ISSUE DATE:

1921-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159567>

RIGHT:

大正十年
四月號

界

天

第



第六號

內容

(繪口)

京都學天文臺の
人々

月蝕の觀測

理學士 神田 茂

肉眼に見る星の話(一)

伏見 吉田 源治郎

海王星の現位置(本時)

理學士 山本 一清

昨年中の京都學天文臺(報告)

九一

九二

九三

九四

九五

九六

特別附錄
天文語彙 (其六)

四月の天象

太陽 〓 五日後五時、清明節。八日後六時、日食(歐羅巴北岸で金環食、日本では見えず)。廿一日午前〇時半、白羊宮から金牛宮に入る(穀雨節)

月 〓 八日後六時、新月
十五日午後七時、上半月(双子座)
廿二日後五時、滿月(乙女座)
此の日は月蝕(本文を見よ)
三十日後一時、下半月(山羊座)

水星 〓 始終曉天の星、月初水瓶座、日双鱼座に入る、廿九日水星に接近

金星 〓 初め宵の星で逆行、廿三日下合、其の後は曉の星だから太陽に近くて見えない日が多い。視直径は五十九秒まで上る。

火星 〓 残り惜しげに夕方西天に輝く、位置は牡羊座から廿四日牡羊座へ。

木星 〓 獅子座を逆行中、日没後直ちに東天にある、觀望は殊に好い

土星 〓 やはり獅子座を逆行中、木星の跡を追ふ輪が見えたり見えなったり

天王星 〓 水瓶座、西南三度朝起きの人には觀望よし(但し双眼鏡が入る)

海王星 〓 蟹座、東四度、初め逆行、廿二日留、其れからは順行

琴座流星群 〓 十九日から廿二日まで、琴座から盛に飛ぶ、夜半以後觀測よろし

會 告

○天文博覽會

空前の舉たる天文博覽會は

愈々來る四月十二日より大阪市天王寺公園内大

阪市民博物館に開かれることになり京都大學天

文臺及我が同好會本部は目下之が準備に忙殺さ

れてゐる。出品目錄及び案内表は追つて會員諸

氏へ送られる筈、此の機を以つて大に研究と

宣傳とに努力せられんことを。

○臨時總會

右の博覽會開催期を以つて、來

る四月廿四日（日曜）午後二時、博覽會場に於

いて紀念の臨時總會を開く。當日は山本

幹事の「太陽系の現勢」なる講演あり。全國の

我が會員諸君奮つて來會せられよ。

大阪へ!!! 大阪へ!!!

Contents of THE HEAVENS No.6.—edited by I. Yamamoto.

Observers in Kyoto University Observatory (Frontispiece)—

—S. Kanda, Observation of the Lunar Eclipse—G. Yoshida,

Stories of Naked-Eye Stars—I. Yamamoto, Present Position

of Neptune—Kyoto University Observatory in 1920—

Observations of Nova Cygni No.3 (by I. Yamamoto,)—

Calculations of Diameters of Fixed Stars—Approach of

Venus and Moon—Astronomy in a Girl's School—

Queries—OUR ENGLISHPAGE—Reports—Notes.

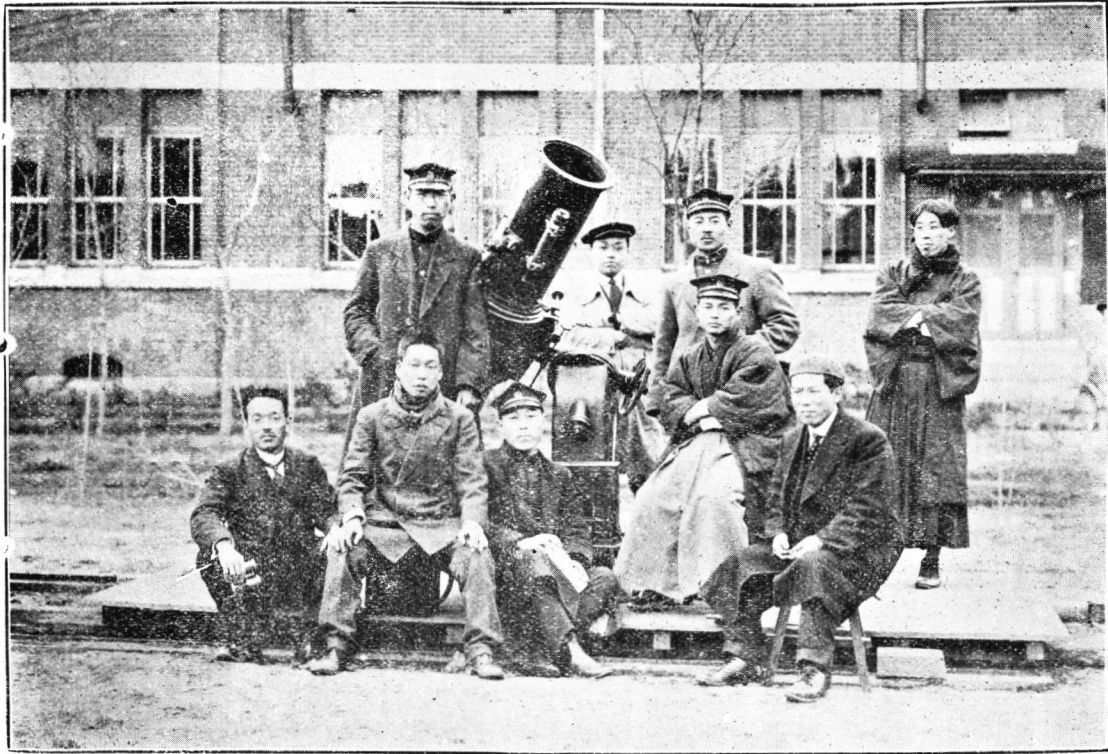
APPENDIX: T. Ebi, Astronomical Lexicon (6)

Published by the Society of the Astronomical Friends,

Kyoto University Observatory, Japan.

念 紀 測 觀 星 金

Kyoto Observers and 10" Reflector



水出小

崎川 (鏡射反吋十) 田安
田盛 原市

部山
田池

本山

川古

編輯室より

神田理學士の原稿は昨年末に頂戴したのだが丁度此の四月の月蝕の記事になるやうに今まで延ばしておいた。著者の御許しを願ひます▲吉田氏は基督教牧師で頗る篤學熱心の方です、同氏の文は今後長く續く筈です▲どうも載せたい原稿が多くなりました、心強いことです、前號から雜報欄の大擴張は御覽の通り▲本號の英文欄は白鳥座新星の研究について山本理學士が歐米の學界に送られる論文の一部です▲次號は特別に「展覽會記念號」とし、今回の大阪に於ける天文展覽會の記事を載せ、兼れて一般天文學上の主要恒數及び資料を掲げ永く讀者諸氏の必携書たらんと期してゐます▲又七月は「佐々木號」とし同氏の遺稿やら木村新城兩博士の玉稿やら山本百濟古川諸氏其他故人の朋友等の寄稿やらで全誌面を飾ります。佐々木氏を知る人も知らざる人も共に逝きし天才を惜しんで上げて下さい。

事務室より

三月十五日現在の會員總數七百五十八名である。千人運動まで今一奮發を要す。會員諸氏の御援助を望みます。大阪の天文博覽會の機を利用して大に學術及び會の發展を圖りませう。此の號の表紙第四面の別刷を御入用の方には何枚でも上げますから新入會員の勧誘のために使つて下さい。

四月末現在の會員名簿を作ります。入會する人は皆此の時までに御入會下されば、御互ひに好都合。

第四號の記事による望遠鏡購入希望の方は其の旨を書き添へて、至急に山本幹事まで金を送つて下さい。既に今日までに三時を六個

二時を十四個注文しました。

會費未納の方へは四月以後に集金郵便を發します。

集金郵便

大正十年三月二十四日
大正十年三月二十五日

印刷 發行
(定價金貳拾五錢 郵稅金五厘)

京都帝國大學天文臺内

編輯兼
發行者

天文同好會

振替貯金大阪五六七六五番

右代表者

山本 一 清

(天界第六號)

印刷者

京都市夷川川端東入下ル
佐藤 靜

印刷所

京都市夷川川端東入下ル
弘文堂印刷所

賣捌所

丸善株式會社
東京、京都、大阪、福岡、仙臺